

持続可能な公共交通に関する意見交換会及びアンケート調査の意見集計結果

1. 概要

【意見交換会】

現在までに実施した公共交通に係る事業とその結果を基に、本市に適した持続可能な公共交通の形について、各地区の地域住民と意見を交換した。

- ◇開催：令和5年1月～9月 市内13地区・各地区4回の計52回（自由参加）
- ◇参加：441人
- ◇意見：530件 内訳：具体的な要望193件、その他337件（市の事業への感想 等）

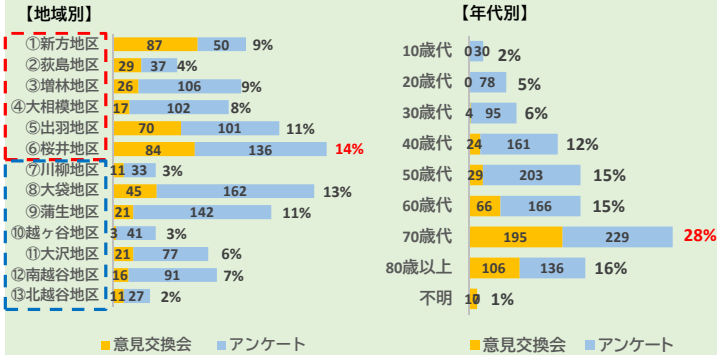
【アンケート調査】

本市に適した持続可能な公共交通について検討するため、市内在住の15歳以上の方、3,000人に無作為抽出で調査票を配布し、様々な世代・地域の市民から意見を聴取した。

- ◇実施：令和5年9月1日～22日
- ◇回答：1,106人（回答率：36.9%）

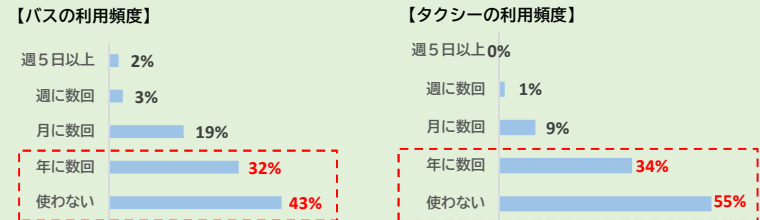
2. 主な集計結果（詳細は別添）

①参加者（回答者）について（P1～2、41）



- 【地域別】で見ると、意見交換会では「①～⑥乗合交通が利用しやすい6地区」からの参加者が71%が多かったが、アンケート調査と合算すると「①～⑥乗合交通が利用しやすい6地区」から55%、「⑦～⑬乗合交通利用圏域の7地区」から45%の参加者（回答者）があり、両地区から概ね同程度の意見が得られた。
- 【年代別】では、70歳代が意見交換会、アンケートともに参加者（回答者）が最も多く、概ね高齢になるほど参加者（回答者）が多くなる傾向であった。

②バス・タクシーの利用状況について（P23～24）



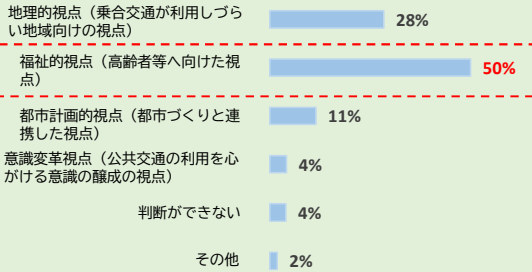
- バスは75%、タクシーは89%の方が、「年に数回」または「使わない」と回答しており、あまり利用されていないことが分かる。

- 地域別では、バスを「年に数回」または「使わない」と回答した人は、「乗合交通が利用しやすい6地区」で71%、「乗合交通利用圏域の7地区」で80%であった。また、タクシーを「年に数回」または「使わない」と回答した人は、「乗合交通が利用しやすい6地区」では89%、「乗合交通利用圏域の7地区」では90%であった。（P23～24）

- 市内を移動するときの主な交通手段は、「自家用車（自分で運転）」と「自転車」が同程度で多かった。（P22）

③今後の取組で重要な視点について（P35）

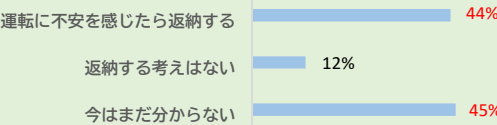
【どのような視点での取組が重要か】



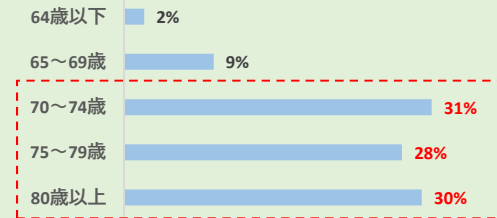
- 全ての年代・地域で「福祉的視点」と回答する人が最も多いという結果となった。次に地理的視点、都市計画的視点と続き、これらも全ての年代・地域で、ほぼ同じ傾向であった。

④運転免許返納の考え（P21）

【免許返納の考え】



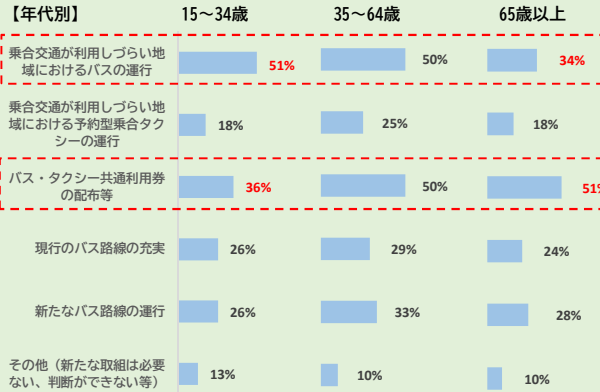
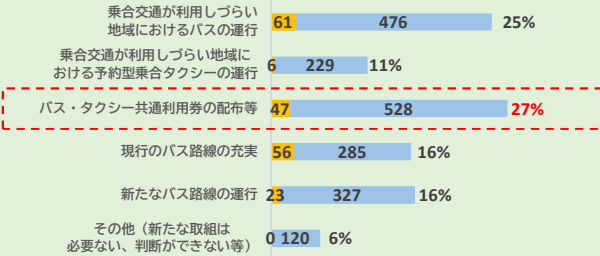
【「運転に不安を感じたら返納する」と回答した人に対し、「返納する想定年齢」を尋ねた結果】



- 免許返納の考えについて、「運転に不安を感じたら返納する」と回答した人（44%）に「返納する想定年齢」を尋ねたところ、多くの方が70歳以上から免許返納を想定していた。

⑤継続して実施することが必要な取組み（P3、36～37、42）

【アンケート問4-2「継続して実施することが必要と思われる取組み」と、意見交換会の要望数を合算】



- 意見交換会では、「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が61件で最も多く、「現行のバス路線の充実」が56件、「バス・タクシー共通利用券の配布等」が47件と続いた。

- アンケート調査では、「バス・タクシー共通利用券の配布等」が528件で最も多く、次に「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が476件であった。

- 年代別では、若年層は「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が、高齢者は「バス・タクシー共通利用券の配布等」が最も多い。

- 意見交換会とアンケート調査の意見数を合算すると、「バス・タクシー共通利用券の配布等」が全体の27%で最も多い結果となった。

別添

持続可能な公共交通に関する意見交換会及び アンケート調査結果報告書

令和6年2月
越谷市

目次

I. 調査概要	
1. 意見交換会	1
2. アンケート調査	2
II. 意見交換会 意見集計	
1. 意見数	3
2. 具体的な実施要望	3
3. その他の主なご意見	4
4. 各地区の意見集計	5
III. アンケート調査 意見集計	
1. このアンケートの回答者について	18
2. 主な移動手段について	22
3. バス・タクシーについて	28
4. これまでに市が実施した公共交通事業について	32
5. これからの本市に適した公共交通について	35
6. まとめ	38
IV. 意見交換会及びアンケート調査の合計	
1. 参加者（回答者）数	41
2. 継続して実施することが必要と思われる取組み	42
3. 意見交換会及びアンケート調査の集計結果	42

I. 調査概要

1. 意見交換会

1-1. 目的

現在までに実施した公共交通に係る事業とその結果を基に、本市に適した持続可能な公共交通の形について、各地区の地域住民と意見を交換する。

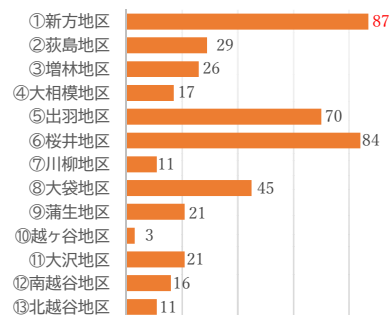
1-2. 実施期間

令和5年1月～9月

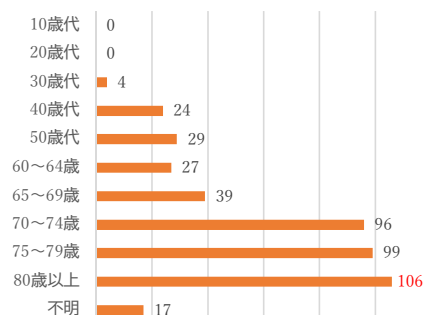
1-3. 参加人数

441名

① 地域別



② 年代別



- 参加者の約80%が65歳以上の高齢者であることから、高齢になるほど公共交通への関心が高い結果を示しています。
- 前半開催である①～⑥地区からの参加者が全体の約70%を占めており、乗合交通が利用しやすい地域ほど公共交通への関心が高い結果を示しています。

2. アンケート調査

2-1. 目的

本市に適した持続可能な公共交通について検討するため、意見交換会に加え、様々な世代の市民から意見を聴取する。

2-2. 実施期間

令和5年9月1日～22日

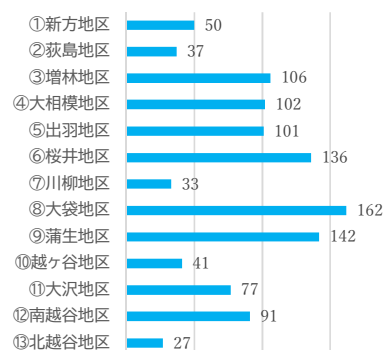
2-3. 調査方法

15歳以上の越谷市民3,000名を無作為抽出し、郵送配布、郵送回収または回答用QRコードからWEBで回答

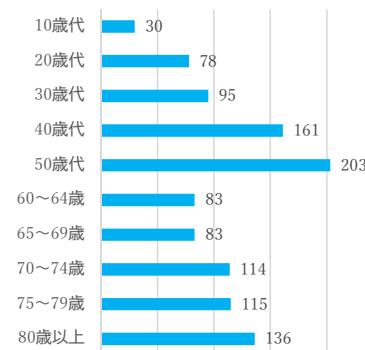
2-4. 回答者数

1,106名（郵送：894、web：212）

① 地域別



②年代別



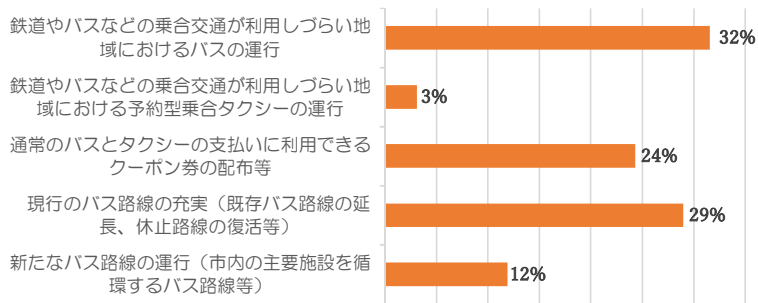
- 乗合交通が利用しやすい地域の6地区から532人、乗合交通利用圏域の7地区から565人の回答が得られ、両地域からほぼ同数の意見が得られました。
- 10歳代(15～19歳)が全体の約3%と少ないものの、意見交換会と比べ、全年代から大きな偏りなく回答が得られました。

II. 意見交換会 意見集計

1. 意見数

- 全意見 530 件
- ① 具体的な実施要望（コミバス、クーポン券等）：193件
- ② その他（市の実施事業の感想等）：337件

2. 具体的な実施要望



- 「乗合交通が利用しづらい地域におけるバスの運行」が32%で最も多く、次いで「現行のバス路線の充実」が29%、「クーポン券の配布等」が24%と続いています。
- バスを望む意見については、「家の近くにバス停がないため／休止バス路線を復活させてほしい」などの意見が見られました。
- クーポン券の配布等を望む意見については、「以前実施されたものが便利だった／常に移動手段が必要なわけではないため、クーポン券が最も望ましい」等の意見が見られました。

3. その他の主なご意見

高齢者への配慮に関する意見
高齢者が外出できる地域づくりをしてほしい
高齢者の情報を踏まえ、福祉施策としても取り組んでほしい
公共交通の利便性が高いエリアにも交通弱者がいるため、本当に必要な人に対して事業を進めて欲しい
バス路線の問題は、福祉の問題として考え、市民を支えてもらいたい
将来的な移動手段の確保に漠然とした不安がある
交通系ＩＣカードや電子マネーの利用について、もっと周知した方がよい
バスに関する意見
バスの停留所付近に自転車を置けるようにしてほしい
駅へ向かう路線ではなく、各施設や駅などをつなぐ路線がよい
東武スカイツリーラインが運行停止になっても代替になるような路線の設定
バスの運賃値上げ不可をお願いしたい
スマホの位置情報を利用し、バス利用の利便性を向上できないのか
夏などの暑い時、バス待ちが大変なため、上屋などを整備してほしい
タクシーに関する意見
タクシーの迎車料金の中止をお願いしたい
タクシーなどの利用方法を周知すると高齢者は利用しやすくなると思う
病院や銀行へのタクシーを利用しているが、料金が結構な金額
新たなシステム等に関する意見
デイサービスの車両など、空いている車両を利用するなど考えてもらいたい
乗り継ぎが有利にできるようなシステムを構築してほしい
市内の小さな観光資源を繋ぐことで公共交通の利用促進がはかれると思う
交通事業者のみに頼るのではなく、NPOなどを利用する時代だと思う
ボランティアを利用した第三セクターを立上げ、独自の電子マネー等を用いた運行がよい
その他
意見交換会に来たくても来られない人の意見も聞いて欲しい
意見交換会の参加者は年配者が多いが、若者の意見は取り入れないのか
コミバス試験運行は新方地区とせんげん台駅という狭い範囲のため勝手がよくなかった
ミニバス、乗合タクシー、交通券のいずれにしても、利用者の意見を十分に吸い上げて、事業化して欲しい
他市の事例を蓄積し、効果的な施策を検討
自家用車を所有しない人に限定した計画を策定し、実施してほしい

4. 各地区の意見集計

新方地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）										
会 議 名	新方地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年1月26日（木） 19時00分 ～ 第2回 令和5年1月28日（土） 14時00分 ～ 第3回 令和5年2月 1日（木） 10時00分 ～ 第4回 令和5年2月 5日（日） 19時00分 ～									
開催場所	新方地区センター 3階 多目的ホール（全開催とも同一）									
参加者数	87名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回				1	1	9	2		13
	第2回			1	2	4	25	6		38
	第3回				2	2	11	10		25
	第4回				2	2	5	1	1	11
意見集約	1. 発言された意見 45件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	6	0	3	6	5	25				
	主な意見									
	・ 料金が安く、通勤等で利用できるバスがよい。運行が赤字ならば、市や自治会の負担を考えればよい。									
	・ 公共交通は必要だが、まだ利用しなければならない状況にいたっていないため、当面タクシー券の配布が良いのではないかな。									
	・ 既存の公共交通を維持するため公金で補助すべきではないのか。									
	2. 投稿された意見 69件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	22	2	7	12	8	18				
主な意見										
・ タローズバスのような小さなバスでよいので、市立病院まで走るバスが欲しい。										
・ 高齢者に対するバス無料券の配布										
・ せんげん台駅方向、スーパー、病院等に使える循環バスを希望。										

荻島地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）										
会 議 名	荻島地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年2月 9日（木） 14時00分 ～ 第2回 令和5年2月12日（日） 19時00分 ～ 第3回 令和5年2月17日（金） 19時00分 ～ 第4回 令和5年2月25日（土） 10時00分 ～									
開催場所	荻島地区センター 2階 多目的ホール（全開催とも同一）									
参加者数	29名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回			3	1	1	8	3		16
	第2回					1				1
	第3回			1		4	2			7
	第4回			1	1	2	1			5
意見集約	1. 発言された意見 29件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	2	1	8	4	0	14				
	主な意見									
	・駅に全てが集約されているので、北越谷駅に1本ですぐに行ける路線									
	・荻島には、ドアツードアのタクシーが一番なじむので、交通券が合う									
	・国際興業のバスが、北越谷まで行くと地域の軸となると思う。									
	2. 投稿された意見 8件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	3	2	0	3				
主な意見										
・ミニバスや乗合タクシーを要望する声が多いが、実証運行の結果では時期尚早と思われるので、利用者増加が見込まれるまでは、交通券がよいのでは。										
・利用しない世帯が多数あることは、他の交通手段の方が便利であると考えられる。										
・高齢者、障害者などの交通弱者に対する有効な施策となるので、福祉部門と連携し制度化してもらいたい。										

増林地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	増林地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年3月18日（土） 10時00分 ～ 第2回 令和5年3月22日（水） 14時00分 ～ 第3回 令和5年3月24日（金） 19時00分 ～ 第4回 令和5年2月26日（日） 19時00分 ～									
開催場所	増林地区センター 2階 多目的ホール（全開催とも同一）									
参加者数	26名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回				1	4	6			11
	第2回					2	2	1		5
	第3回				1					1
	第4回			1	1		5	2		9
意見集約	1. 発言された意見 31件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	3	0	2	3	0	23				
	主な意見									
	・バス停のそばに駐輪場が欲しい									
	・市が安い料金で、市内を3分割し、各地でバスを運行してほしい。									
	・既存のバス停と吉川駅との間にバス停を増やしてほしい。									
	2. 投稿された意見 5件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	1	0	2	0	1	1				
主な意見										
・吉川橋のバス停が不便になり、病院に行くのにタクシーを利用し、交通費が大変である。病院に行くバスが欲しい。										
・コミバス・乗合タクシーは費用対効果が低いため、利用環境が整うまで、クーポン券がよい。										
・バス・タクシークーポン券は便利だったので、クーポン券の配布がよい。										

大相模地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	大相模地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年4月15日（土） 14時00分 ～ 第2回 令和5年4月18日（火） 10時00分 ～ 第3回 令和5年4月27日（木） 19時00分 ～ 第4回 令和5年2月26日（日） 19時00分 ～									
開催場所	大相模地区センター 2階 多目的ホール（全開催とも同一）									
参加者数	17名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回		2				1	3		6
	第2回				1		3	2		6
	第3回		1				3	1		5
	第4回									0
意見集約	1. 発言された意見 20件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	2	0	4	0	1	13				
	主な意見									
	・地区を回って行けるようなバス等を走らせてほしい。									
	・チケットは利用率等からみても他の事業より良かったと思う。									
	・高齢者の交通手段を充実させるため、チケットがあると助かる。									
	・市立病院方面への移動手段の確保が必要だと思う									
	・チケットは事業としてはよかったと思うが、今後は必要とする方に配布することは考えているのか。									
	2. 投稿された意見 1件									
コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他					
0	1	0	0	0	0					
主な意見										
・他部署と連携し、高齢者同士のコミュニティを促進させ、改良した乗合タクシーを運行する										

出羽地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	出羽地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年5月16日（火） 19時00分 ～ 第2回 令和5年5月20日（土） 14時00分 ～ 第3回 令和5年5月21日（日） 19時00分 ～ 第4回 令和5年2月24日（水） 10時00分 ～									
開催場所	出羽地区センター 2階 多目的ホール（全開催とも同一）									
参加者数	70名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回			2		1	1			4
	第2回			3	4	2	14	17		40
	第3回			1			4		1	6
	第4回			1		5	6	8		20
意見集約	1. 発言された意見 48件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	3	1	3	4	0	37				
	主な意見									
	・武蔵野線の南側を循環するようにバスを運行して欲しい。									
	・タクシーなどの利用方法を周知すると高齢者は利用しやすくなると思う。									
	・タクシー券は、使い勝手が良かったが、3千円は少ない、また発行してほしい。									
	2. 投稿された意見 10件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	1	1	1	7				
主な意見										
・循環バスみたいなものがよい。										
・どの事業も、乗合バスが運行していない地域には有効な事業。										
・新越谷駅西口ー七左町七丁目線を開業より利用しているが、平日夜間の運行本数を30分間隔から15分間隔にして欲しい。										
・説明会の開催場所が遠い。										

桜井地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	桜井地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年5月28日（日） 19時00分 ～ 20時00分 第2回 令和5年5月30日（火） 14時00分 ～ 16時00分 第3回 令和5年6月 9日（金） 19時00分 ～ 20時20分 第4回 令和5年7月17日（月） 14時00分 ～ 16時00分									
開催場所	桜井地区センター 2階 多目的ホール 平方小学校体育館									
参加者数	84名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回			1	1	3	6	5		16
	第2回				2	5	19	14	2	42
	第3回			2	2	1	4		1	10
	第4回			3	1	4	5	2	1	16
意見集約	1. 発言された意見 56件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	6	0	2	5	1	42				
	主な意見									
	・市立病院に、少し寄り道をしながらでも直通でいけるような手立てを考えてもらいたい。									
	・堺市や草加市など色々な地域で実施している事業を参考に検討して欲しい。									
	・公共交通の利用が困難だが、せめて病院に気軽にいけるバスが欲しい。									
	2. 投稿された意見 18件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	1	0	3	3	11				
主な意見										
・新しい交通でも、交通券でもよいので、公的支援で何かしら作り上げて欲しい。										
・100円で乗れるとは言わないが、交通弱者に対応したもの。										
・市立病院線の復活。										

川柳地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	川柳地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年6月20日（火） 10時00分 ～ 第2回 令和5年6月24日（土） 14時00分 ～ 第3回 令和5年6月29日（木） 19時00分 ～ 第4回 令和5年7月 2日（日） 19時00分 ～									
開催場所	川柳地区センター 2階 大会議室									
参加者数	11名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回					2	1	2		5
	第2回					1	4			5
	第3回						1			1
	第4回									0
意見集約	1. 発言された意見 22件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	4	0	0	0	0	18				
	主な意見									
	・南町付近から蒲生駅や新越谷駅に向かうバス路線が欲しい。									
	・レイクタン行のバスが欲しい。									
	・川柳地区は、交通に不便を感じないため、新しい交通の施策は難しいと思う。									
	2. 投稿された意見 5件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	2	0	1	1	1	0				
主な意見										
・チケットは非常に利用し易かったし、小さい子供や障がい者にも同様のものがあったら助かるのではないのか。										
・埼玉県は、公営の公共交通機関が少ないので、市内を循環するようなバスがあれば住みよくなると思う。										
・バス路線のない地域については、周辺の路線を拡大・延長できないのか。										

大袋地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	大袋地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年7月 4日（木） 14時00分 ～ 第2回 令和5年7月 9日（日） 10時00分 ～ 第3回 令和5年7月13日（木） 19時00分 ～ 第4回 令和5年7月22日（土） 19時00分 ～									
開催場所	大袋地区センター 3階 大会議室 北部市民会館4Fホール									
参加者数	45名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回					3	8	2	6	19
	第2回				1	1	7	5	1	15
	第3回			2	1	2	1	1	1	8
	第4回					1	2			3
意見集約	1. 発言された意見 42件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	1	0	1	2	0	38				
	主な意見									
	・レイクタウン行のバスが欲しい。									
	・高齢になるほどバスが利用しづらくなってきている。									
	・運行経費を削減した老々バスなどの運行。									
	・免許返納予定のためバスがないと不安であるが、タクシー券はとてもよかった。									
	2. 投稿された意見 9件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
0	0	3	1	1	4					
主な意見										
・常に移動手段が必要なわけではないので、必要な時に使える公共交通利用補助券がよい。										
・試験運行は、事前調査を徹底的に行い、実施条件（時間・場所等）をきめ細かく定め実施すべき。										
・高齢者バスや、プレミアム券のような補助券があればよい。										

蒲生地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	蒲生地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年7月 6日（木） 10時00分 ～ 第2回 令和5年7月 9日（日） 19時00分 ～ 第3回 令和5年7月21日（金） 19時00分 ～ 第4回 令和5年7月30日（日） 10時00分 ～									
開催場所	蒲生地区センター 3階 多目的ホール									
参加者数	21名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回					1	2	3		6
	第2回					1	2	3		6
	第3回						3	3		6
	第4回		1			2				3
意見集約	1. 発言された意見 29件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	2	0	1	1	0	25				
	主な意見									
	・電車を乗り継ぎ市立病院に行くのが大変なため、直接行けるバスが欲しい。									
	・共通券が最も効果的に思われるが、困っている人のみにした方がよい。									
	・試験運行を行った経緯は何か。また、事業のPRが不足している。									
	2. 投稿された意見 3件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	1	0	0	2				
主な意見										
・市の実施した実証運行の中では、チケットが最もよいと思う。										
・車を所有しない人に限定した計画を実施して欲しい。										
・ボランティアを利用した第三セクターを立ち上げ、独自の電子マネー等を用いた運行がよい。										

越ヶ谷地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	越ヶ谷地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年7月 8日（土） 14時00分 ～ 第2回 令和5年7月16日（日） 19時00分 ～ 第3回 令和5年7月18日（火） 19時00分 ～ 第4回 令和5年7月27日（木） 14時00分 ～									
開催場所	越ヶ谷地区センター 3階 大会議室									
参加者数	3名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回							1		1
	第2回			1						1
	第3回									0
	第4回						1			1
意見集約	1. 発言された意見 9件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	2	0	0	7				
	主な意見									
	・交通券の利用率は高かったが、継続して実施することは困難なのか。 ・市内の小さな観光資源を繋ぐことで公共交通の利用促進がはかれると思う。 ・レイクタウンのみ便利になっている。他のエリアも便利になって欲しい。 ・夏などの暑い時、バス待ちが大変なため、上屋などを整備して欲しい。									
	2. 投稿された意見 0件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	0	0	0	0				
	主な意見									
	なし									

大沢地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	大沢地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年8月17日（木） 19時00分 ～ 第2回 令和5年8月19日（土） 19時00分 ～ 第3回 令和5年8月27日（日） 10時00分 ～ 第4回 令和5年8月30日（水） 10時00分 ～									
開催場所	大沢地区センター 3階 多目的ホール									
参加者数	21名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回							1		1
	第2回									0
	第3回					2	8	3	1	14
	第4回			1		2	2	1		6
意見集約	1. 発言された意見 27件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	4	0	1	3	0	19				
	主な意見									
	・ デイサービスなどの車をタクシーの様に利用することはできないのか。									
	・ LRTが町の活性化にもつながり、いいと思う。									
	・ 共通券の事業は本当に助かった。より困った人を対象にしてみたい。									
	2. 投稿された意見 4件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	0	1	0	3				
主な意見										
・ くすのき荘やユリノキ荘など公共施設に行くバス。										
・ 公共交通を利用できるように脳と体と鍛える。										
・ 市も補助を捻出し、駅を中心に様々な公共施設（図書館、病院、警察署、埼玉スタジアム、順天堂大学病院など）に行けるようにする。										

北越谷地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

会 議 名	北越谷地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年9月 2日（土） 14時00分 ～ 第2回 令和5年9月 8日（金） 19時00分 ～ 第3回 令和5年9月10日（日） 19時00分 ～ 第4回 令和5年9月14日（木） 14時00分 ～									
開催場所	北越谷地区センター 2階 大会議室									
参加者数	11名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回						3		1	4
	第2回				1					1
	第3回									0
	第4回					2	3	1		6
意見集約	1. 発言された意見 16件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	0	0	0	2	1	13				
	主な意見									
	・荻島－北越谷駅間のバス路線の設置。 ・北越谷西口からの発着バスが少ないので、福祉村行など設置してもらいたい。 ・乗り継ぎが有利にできるようなシステムを構築して欲しい。 ・地区内、年寄りが多いため、介護タクシーみたいなものが欲しい。									
	2. 投稿された意見 2件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	2	0	0	0	0	0				
	主な意見									
	・北越谷駅西口から福祉村や浦和美園に行くバスを数本でよいので運行して欲しい。 ・コミュニティバスを走らせ、年寄りには割引券をだす。									

南越谷地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会（まとめ）

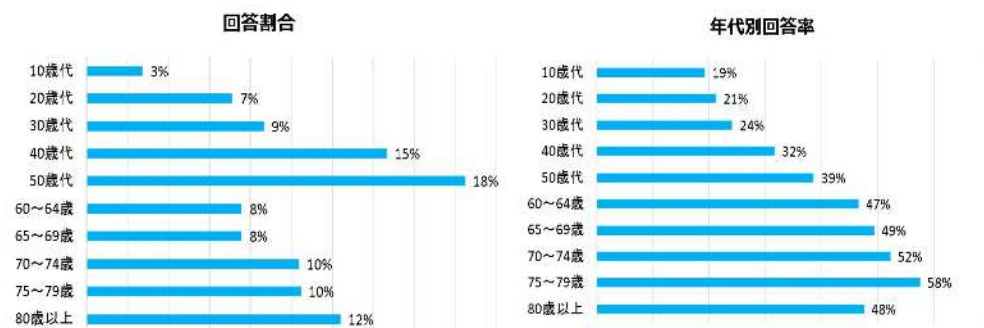
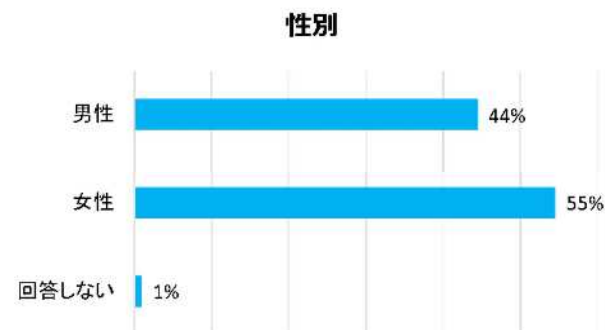
会議名	南越谷地区 持続可能な公共交通に関する意見交換会									
開催日時	第1回 令和5年9月 2日（土） 19時00分 ～ 第2回 令和5年9月 7日（木） 14時00分 ～ 第3回 令和5年9月12日（火） 19時00分 ～ 第4回 令和5年9月23日（土） 14時00分 ～									
開催場所	南越谷地区センター 2階 多目的ホール									
参加者数	16名									
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
	第1回				1	1	4			6
	第2回				2		3	2		7
	第3回							1	1	2
	第4回					1				1
意見集約	1. 発言された意見 22件									
	コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他				
	1	0	2	5	0	14				
	主な意見									
	・ 共通利用券が一番効果的であったのではないと思う。									
	・ 民間バス会社に補助金を出すのがいいのでは。									
	・ 昔あった蒲生から新越谷までのバスを復活させる考えはないのか。									
	・ 試験運行は、高齢者にフォーカスされているような気がするが、若い人たちに目を向けることも必要。									
	・ 持続可能な公共交通は、どの年代をターゲットにしているのかによって変わってくと思う。									
	2. 投稿された意見 0件									
コミバス等の運行	予約型乗合タクシーの運行	バス・タクシー共通利用券の配布	現行のバス路線の充実	新たなバス路線の運行	その他					
0	0	0	0	0	0					
主な意見										
なし										

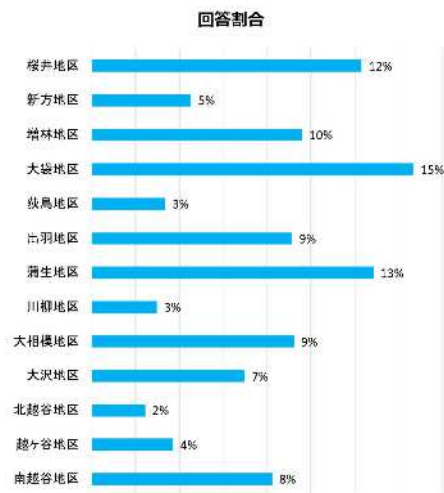
Ⅲ. アンケート調査 意見集計

1. このアンケートの回答者について

（1）年代、居住地等

●このアンケートの回答者の年齢、居住地等は、以下の通りです。

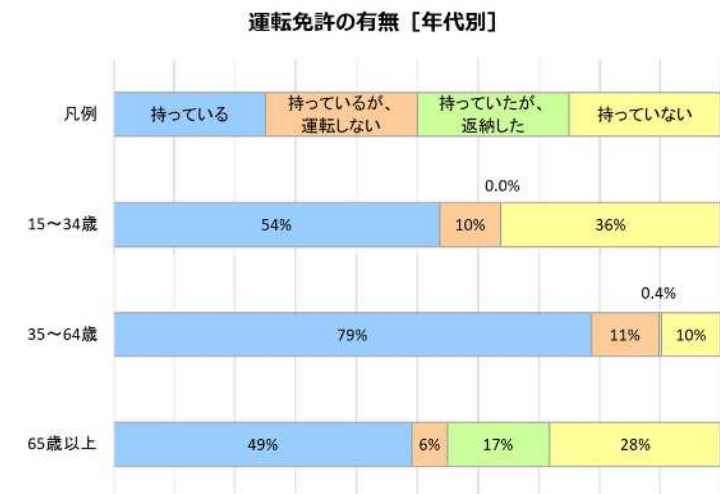
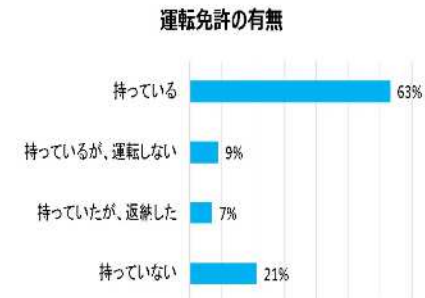




(1) 運転免許の保有状況について

・運転免許の有無

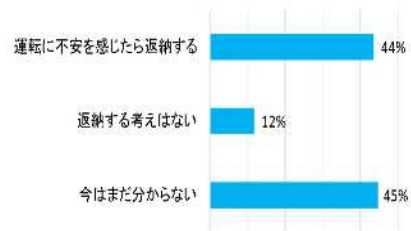
- 回答者の約6割が運転免許を保有しており、普段から運転をしています。
- 年代別で見ると、65歳以上の約半数の49%の方が免許を持っています。



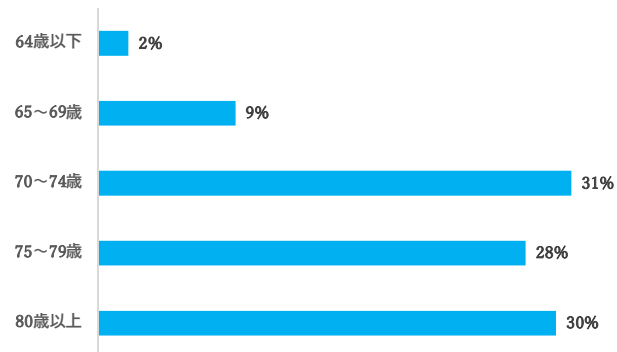
・運転免許の返納に対する考え

- 「運転に不安を感じたら返納する」、「今はまだ分からない」が同程度となっており、返納する考えのない回答者は少数です。
- 【返納する想定年齢】を見ると、多くの方が70歳以上から免許を返納することを想定しています。

免許返納の考え



「運転に不安を感じたら返納する」と回答した人に対し、「返納する想定年齢」を尋ねた結果

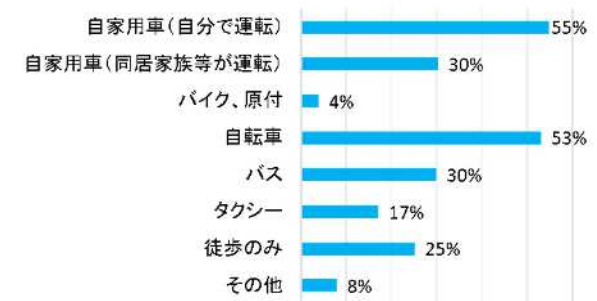


2. 主な移動手段について

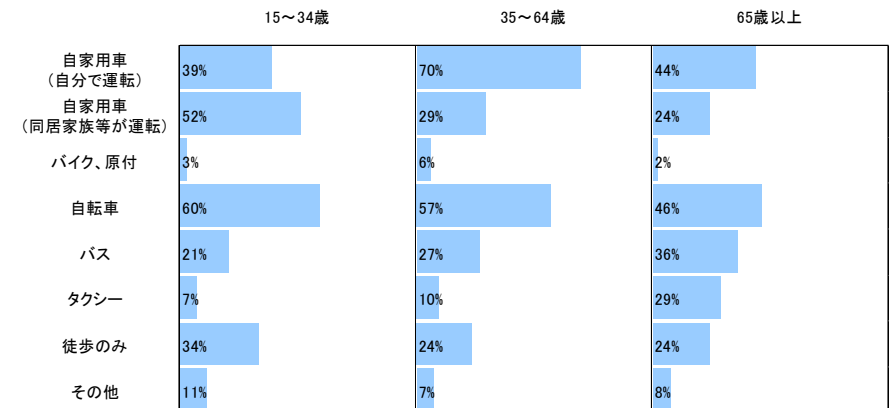
(1) 主な移動手段

- 市内を移動するときの主な交通手段は、「自家用車（自分で運転）」と「自転車」が同程度で多くなっています。
- バス、タクシー等の公共交通の利用は少ないのが現状です。

主な移動手段



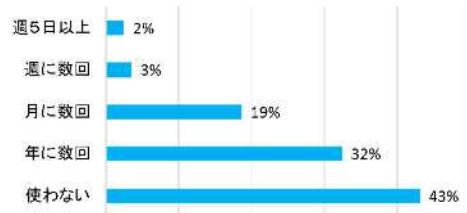
主な移動手段 [年代別]



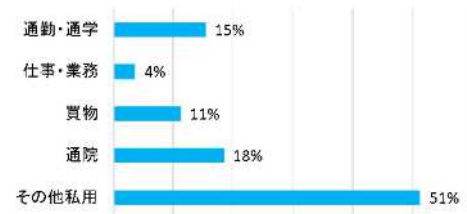
(2) バスの利用状況

- バスを「使わない」という回答者が最も多く、次いで、「年に数回」が多くなっています。これらの合計は7割以上となり、バスをあまり使わない回答者が多くを占めている状況です。
- バスを利用する人の利用目的は、「その他私用」との回答が最も多く、通勤・通学や日常生活での利用よりも多くなっています。
- 地域別では、「年に数回」または「使わない」と回答した人は、乗合交通が利用しやすい6地区で71%、乗合交通利用圏外の7地区で80%でした。

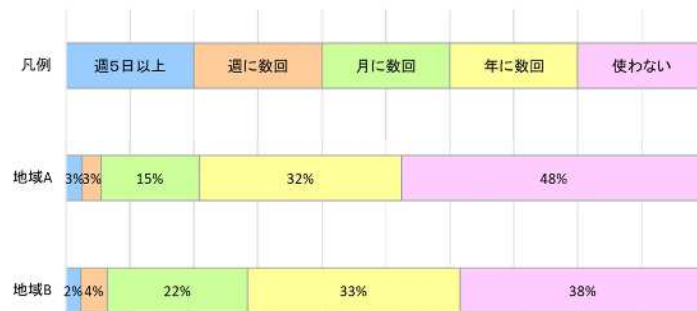
バスの利用頻度



バスの利用目的



バスの利用頻度【地域別】

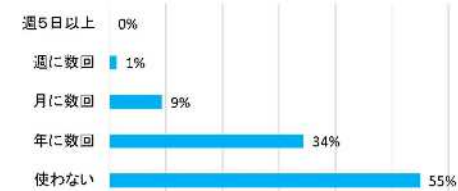


※地域A [乗合交通利用圏域] 大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
 地域B [乗合交通が利用しやすい地域] 桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

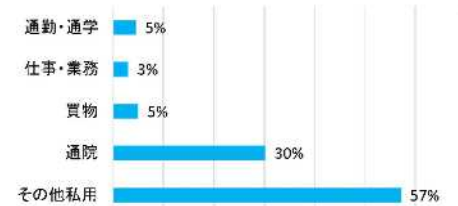
(3) タクシーの利用状況

- タクシーを「使わない」という回答者が最も多く、次いで、「年に数回」が多くなっています。これらの合計は9割近くを占め、タクシーをあまり使わない回答者が大半です。
- タクシーを利用する人の利用目的は、「その他私用」との回答が最も多く、次いで「通院」が多くなっています。
- 地域別では、「年に数回」または「使わない」と回答した人は、乗合交通が利用しやすい6地区では89%、乗合交通利用圏外の7地区では90%でした。

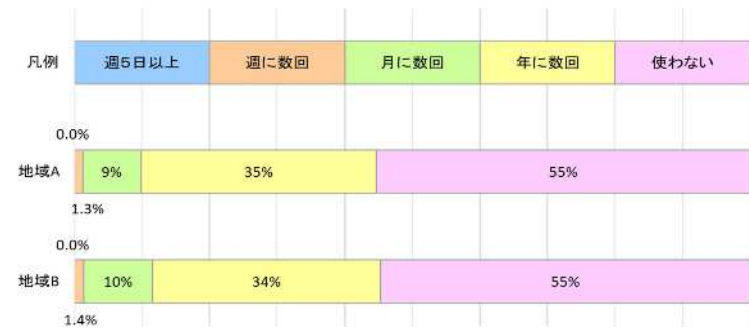
タクシーの利用頻度



タクシーの利用目的



タクシーの利用頻度【地域別】

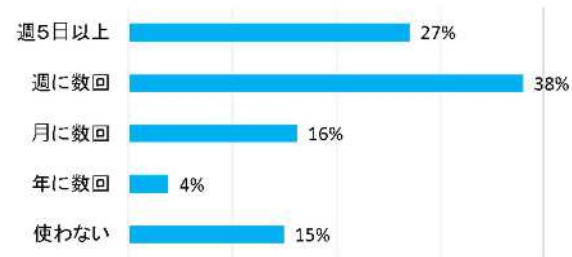


※地域A [乗合交通利用圏域] 大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
 地域B [乗合交通が利用しやすい地域] 桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

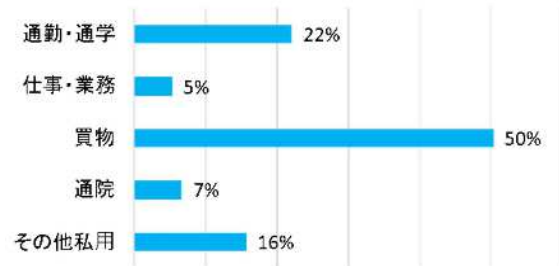
(4) 自家用車の利用状況

- 自家用車の利用頻度は「週に数回」との回答が最も多く、次いで「週5日以上」が多くなっています。これらの合計は6割以上となり、自家用車を利用する回答者が多い状況です。
- 自家用車の利用目的は、「買物」が最も多くなっています。通勤・通学での利用も2割程度あります。

自家用車の利用頻度



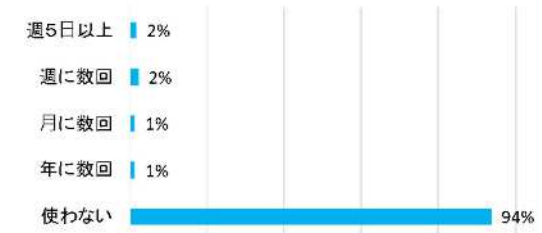
自家用車の利用目的



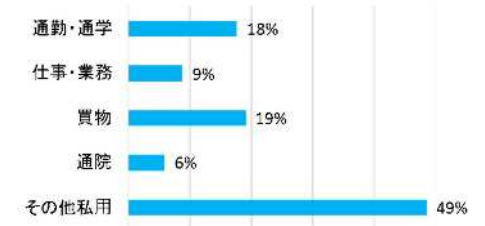
(5) バイク・原付の利用状況

- バイク・原付を「使わない」という回答が突出して多くなっています。
- バイク・原付の利用目的は、「その他私用」との回答が最も多くなっています。

バイク・原付の利用頻度

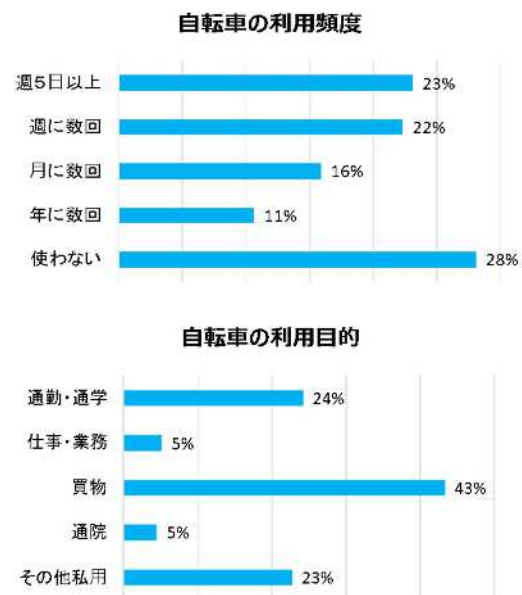


バイク・原付の利用目的



(6) 自転車の利用状況

- 自転車を「使わない」と回答した人が最も多くなっていますが、「週5日以上」、「週に数回」利用するとの回答も多く、週に数回以上の合計は4割以上を占めています。
- 自転車の利用目的は、「買物」と回答した人が最も多くなっており、次いで「通勤・通学」、「その他私用」が多くなっています。

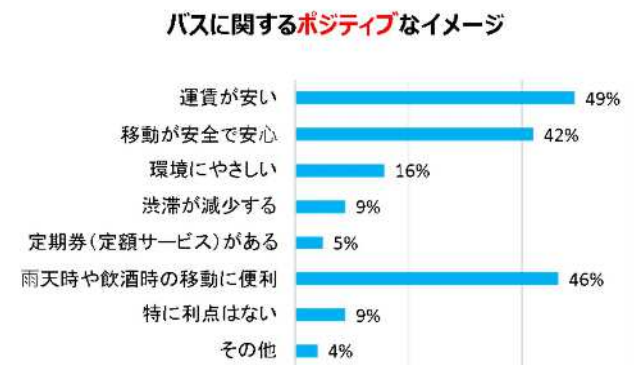


3. バス・タクシーについて

(1) バスについて

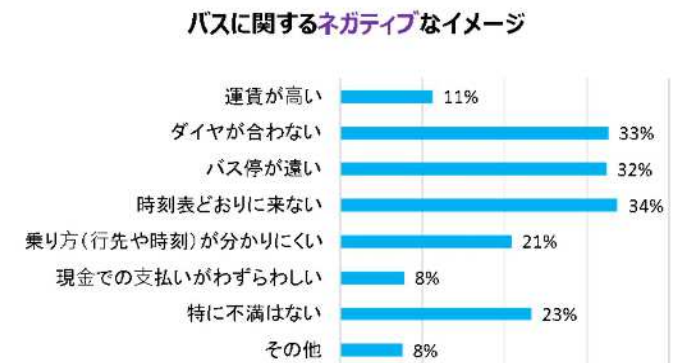
・バスに関するポジティブなイメージ

- バスに関するポジティブ（肯定的）なイメージをたずねたところ、「運賃が安い」、「移動が安全で安心」、「雨天時や飲酒時の移動に便利」が多くなっています。



・バスに関するネガティブなイメージ

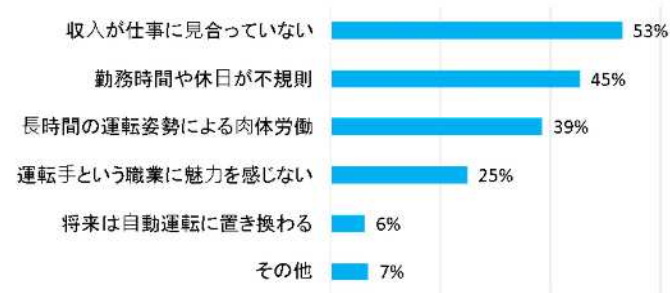
- バスに関するネガティブ（否定的）なイメージをたずねたところ、「ダイヤが合わない」、「バス停が遠い」、「時刻表どおりに来ない」が多くなっています。



・バス運転手に対するイメージ

●バス運転手が不足しているのは、どのようなイメージがあることが要因なのかをたずねたところ、「収入が仕事に見合っていない」が最も多く、次いで「勤務時間や休日が不規則」、「長時間の運転姿勢による肉体労働」の順で多くなっています。

バス運転手に対するイメージ



(2) タクシーについて

・タクシーに関するポジティブなイメージ

●タクシーに関するポジティブ（肯定的）なイメージをたずねたところ、「ドア to ドアで移動できる」が最も多く、次いで「雨天時や飲酒時の移動に便利」が多くなっています。

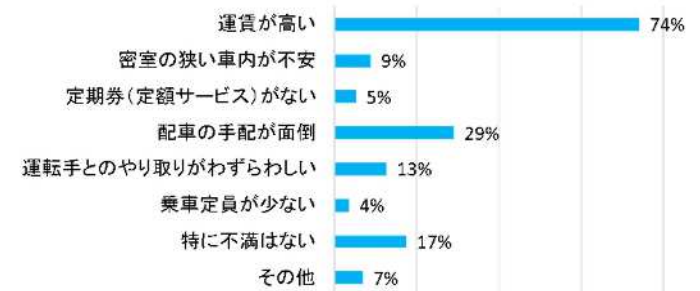
タクシーに関する**ポジティブ**なイメージ



・タクシーに関するネガティブなイメージ

●タクシーに関するネガティブ（否定的）なイメージをたずねたところ、「運賃が高い」が突出して多くなっています。

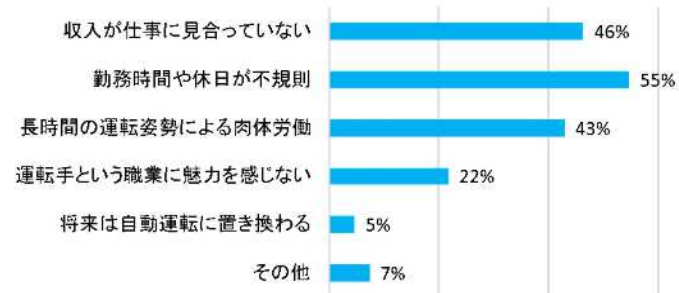
タクシーに関する**ネガティブ**なイメージ



・タクシー運転手に対するイメージ

●タクシー運転手が不足しているのは、どのようなイメージがあることが要因なのかをたずねたところ、「勤務時間や休日が不規則」が最も多く、次いで「収入が仕事に見合っていない」、「長時間の運転姿勢による肉体労働」の順で多くなっています。

タクシー運転手に対するイメージ

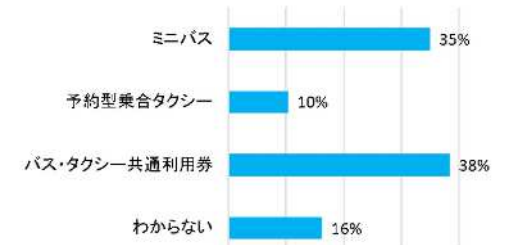


4. これまでに市が実施した公共交通事業について

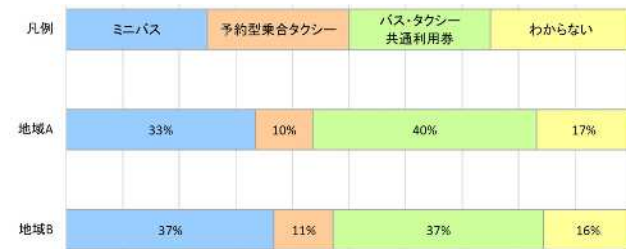
(1) 乗合交通が利用しづらい地域の解消について

- 乗合交通が利用しづらい地域の解消としてもっともよいと思われる事業については、「バス・タクシー共通利用券」、「ミニバス」が多くなっています。
- 地域別では、「ミニバス」と「バス・タクシー共通利用券」が同数となっています。
- 年代別では、65歳以上の「バス・タクシー共通利用券」の回答率が最も高いです。

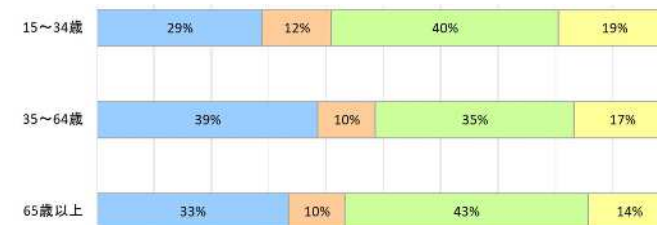
乗合交通が利用しづらい地域の解消のための事業



【地域別】



【年代別】

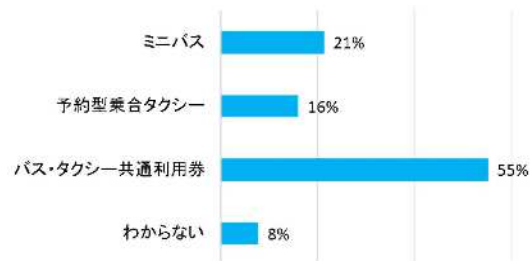


※地域A〔乗合交通利用圏域〕大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
 地域B〔乗合交通が利用しづらい地域〕桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

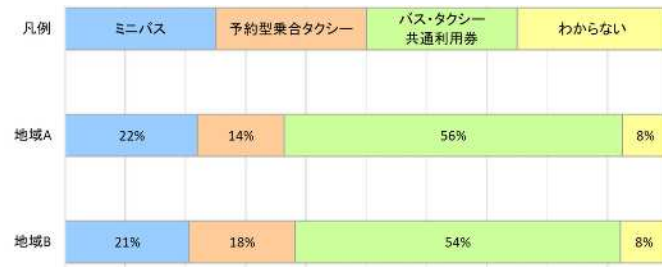
(2) 高齢者への移動支援について

- 高齢者への移動支援として最もよいと思われる事業については、「バス・タクシー共通利用券」が特に多く、半数以上を占めています。
- 地域別でも、「バス・タクシー共通利用券」の回答率が両地区で最も高いです。
- 年代別では、65歳以上の「ミニバス」の回答率が他の年代と比べて高く、「予約型乗合タクシー」の回答率が低くなっています。

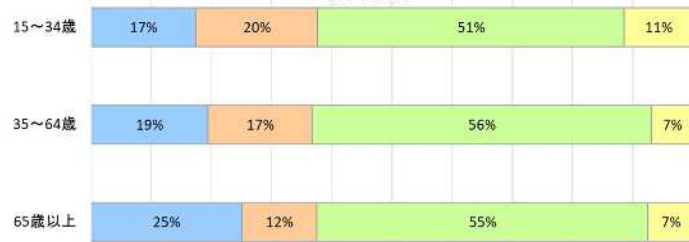
高齢者の移動支援のための事業



【地域別】



【年代別】

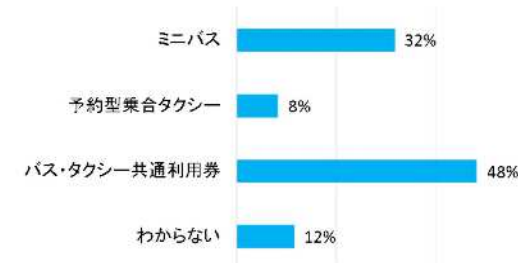


※地域A〔乗合交通利用圏域〕大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
 地域B〔乗合交通が利用しやすい地域〕桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

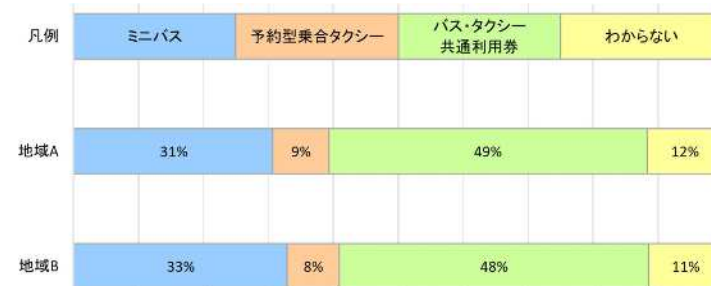
(3) 市が行うことに最も値する事業について

- 市が行うことに最も値する事業については、「バス・タクシー共通利用券」が最も多く、次いで「ミニバス」が多くなっています。
- 年代別では、65歳以上の「バス・タクシー共通利用券」の回答率が高いです。

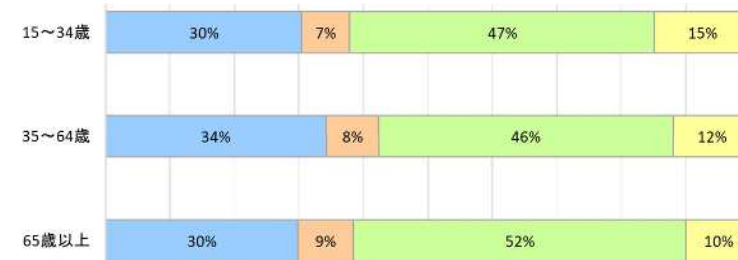
市が行うことに最も値する事業



【地域別】



【年代別】

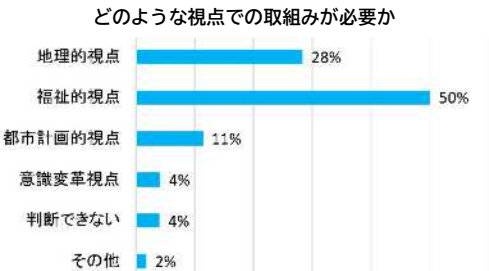


※地域A〔乗合交通利用圏域〕大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
 地域B〔乗合交通が利用しやすい地域〕桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

5. これからの本市に適した公共交通について

(1) 今後の取組みで重要な視点

- 今後の市民の移動手段を確保するにあたり、どのような視点での取組みが重要であるかをたずねたところ、「福祉的視点」との回答が最も多く、次いで「地理的視点」が多くなっています。
- 地域別、年代別でも、「福祉的視点」が最も多い結果となっています。



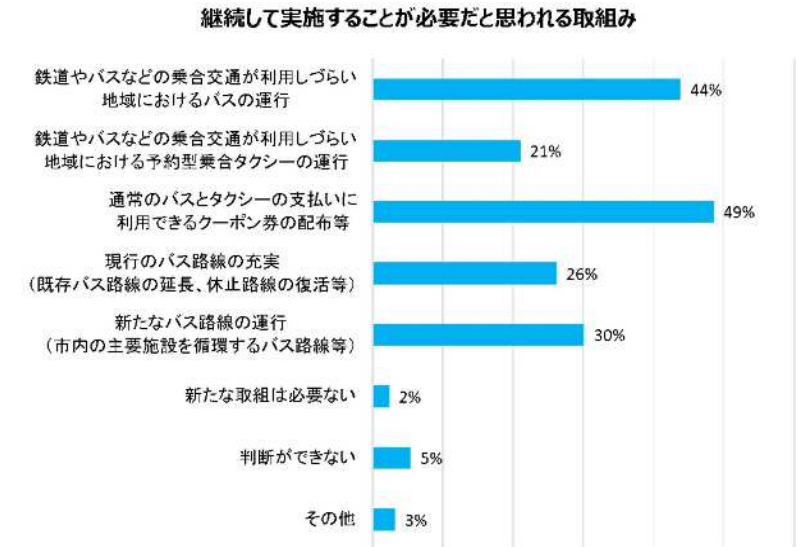
- 地理的視点 : 自宅から鉄道駅やバス停までが遠く、乗合交通が利用しづらい地域にお住いの市民に対する移動手段の確保
- 福祉的視点 : 高齢者や免許返納者など移動手段を持たない人への支援
- 都市計画的視点 : 拠点を活かす都市づくりと連携した交通体系の構築
- 意識変革視点 : 市民一人ひとりが、公共交通の利用を心掛ける意識の醸成



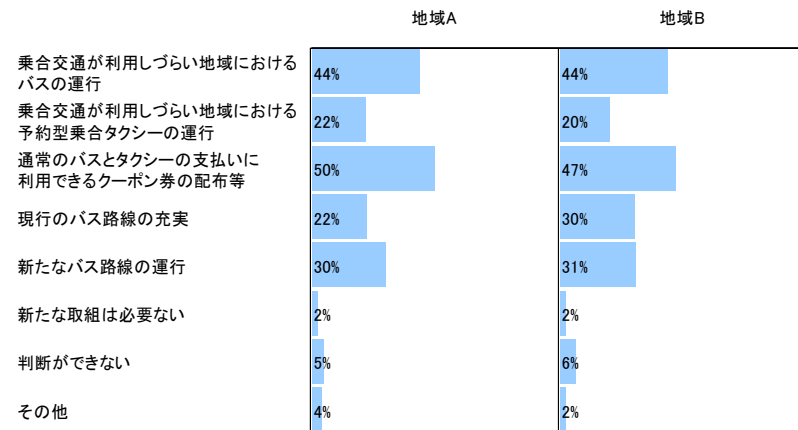
※地域A [乗合交通利用圏域] 大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
地域B [乗合交通が利用しづらい地域] 桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

(2) 将来にわたり継続することが必要な取組み

- 将来にわたり継続して実施することが必要だと思われる公共交通の取組みをたずねたところ、「バス・タクシーに利用できるクーポン券の配布」、「乗合交通が利用しづらい地域におけるバスの運行」が同程度で多くなっています。
- 年代別では、若年層は「乗合交通が利用しづらい地域におけるバスの運行」が、高齢者は「バス・タクシーに利用できるクーポン券の配布」が最も多くなっています。

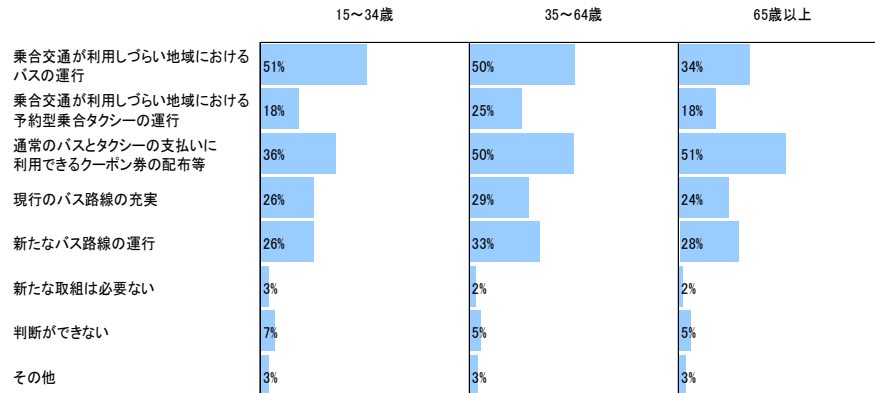


将来にわたり継続して実施することが必要な取組み [地域別]



※地域A [乗合交通利用圏域] 大沢、越ヶ谷、蒲生、南越谷、大袋、北越谷、川柳
 地域B [乗合交通が利用しづらい地域] 桜井、新方、増林、大相模、出羽、荻島

将来にわたり継続して実施することが必要な取組み [年代別]



6. まとめ

●運転免許について

- 回答者の約6割が運転免許を保有しています。
- 運転免許を保有している人のうち、運転に不安を感じたら返納すると考えている人が4割程度である一方、今はまだ分らないと回答した人も同程度います。

●市内の主な移動手段について

- 自家用車（自分で運転）による移動、自転車による移動が多いです。

●公共交通機関（バス、タクシー）の利用状況について

●バス

バスを「使わない」、「年に数回」利用するという回答が多く、バスがあまり利用されていないのが現状です。
 バスを利用する人の利用目的は、「その他私用」との回答が最も多く、通勤・通学や日常生活での利用よりも多くなっています。

●タクシー

タクシーを「使わない」、「年に数回」利用するという回答が多く、タクシーがあまり利用されていないのが現状です。
 タクシーを利用する人の利用目的は、「その他私用」との回答が最も多く、次いで通院が多くなっています。

●公共交通機関以外（自家用車、バイク・原付、自転車）の利用状況について

●自家用車

自家用車の利用頻度は、「週に数回」、「週5日以上」が多く、自家用車による移動が多い傾向となっています。
 自家用車の利用目的は、「買物」が多くなっています。

●バイク・原付

バイク・原付を「使わない」という回答が多くなっています。
 バイク・原付を利用する人の利用目的は、「その他私用」との回答が最も多くなっています。

●自転車

自転車を「使わない」という回答が最も多くなっている一方、週に数回以上利用する人の割合の合計は4割以上を占めています。
 自転車を利用する人の利用目的は、「買物」との回答が最も多くなっています。

●バス、タクシーに関するイメージについて

●バス

バスに関するポジティブなイメージとして、「運賃が安い」、「移動が安全で安心」、「雨天時や飲酒時の移動に便利」の回答が多くなっています。

バスに関するネガティブなイメージとして、「ダイヤが合わない」、「バス停が遠い」、「時刻表どおりに来ない」の回答が多くなっています。

バス運転手に対するイメージとして、「収入が仕事に見合っていない」が最も多く、次いで「勤務時間や休日が不規則」、「長時間の運転姿勢による肉体労働」の順で多くなっています。

●タクシー

タクシーに関するポジティブなイメージとして、「ドア to ドアで移動できる」が最も多くなっています。

タクシーに関するネガティブなイメージとして、「運賃が高い」が突出して多くなっています。

タクシー運転手に対するイメージとして、「勤務時間や休日が不規則」が最も多く、次いで「収入が仕事に見合っていない」、「長時間の運転姿勢による肉体労働」の順で多くなっています。

●市が実施した公共交通事業について

もっともよいと思われる事業として、以下が多くなっています。

●乗合交通が利用しやすい地域の解消

バス・タクシー共通利用券、ミニバス

●高齢者への移動支援

バス・タクシー共通利用券

●市が行うことに最も値する事業

バス・タクシー共通利用券

●これからの本市に適した公共交通について

●今後の取り組みで重要な視点は、「福祉的視点」が多い傾向となっています。

●将来にわたり継続して実施することが必要な取り組みとして、「バス・タクシーに利用できるクーポン券の配布」、「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が同程度で多くなっています。

●アンケート全体を通じて

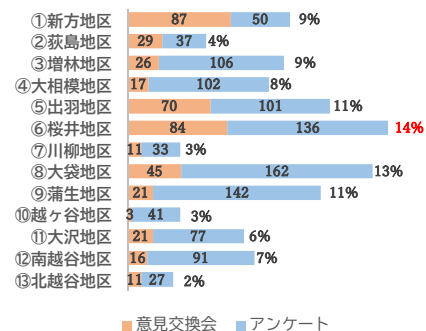
●市民の市内の移動手段は、自家用車や自転車を中心となっており、バス、タクシー等の公共交通を利用する市民は少ないのが現状です。特に、バス、タクシーの利用頻度は低くなっており、市民の日々の外出手段として定着しているとは言い難い状況です。

●今後、実施するのがよいと思われる事業としては、「バス・タクシー共通利用券」が多くなっており、有望な取り組みであると考えられます。ただし、今後重視する視点として「福祉的視点」、「地理的視点」を挙げる市民が多いことから、公共交通の取り組みは高齢者やバス等の利用が不便な箇所に住む人のために行うものであるという認識を持つ市民が少なくないことが危惧されます。したがって、今後の取り組みとあわせて、PR広報や市民の意識を醸成するような取り組みを十分に行うことも必要と考えられます。

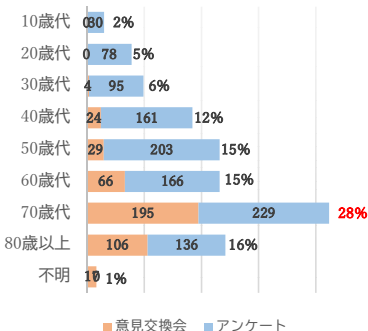
IV. 意見交換会及びアンケート調査の合計

1. 参加者（回答者）数

① 地域別集計



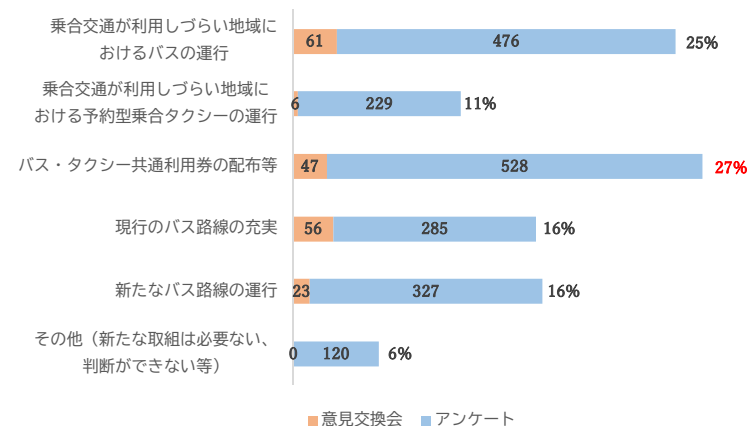
② 年齢別集計



- 【地域別】では、①～⑥乗合交通が利用しやすい6地区で全体の55%、⑦～⑬乗合交通利用圏の7地区で45%の参加者（回答者）があり、両地区から概ね同程度の意見が得られました。
- 【年齢別】では、70歳代が意見交換会、アンケートともに参加者（回答者）が最も多く、概ね高齢になるほど参加（回答）が多くなっています。

2. 継続して実施することが必要と思われる取組み

継続して実施することが必要と思われる取組み



- 「バス・タクシー共通利用券の配布等」が全体の27%で最も多く、次に「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が25%となっています。

3. 意見交換会及びアンケート調査の集計結果

- 意見交換会では、「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が最も多い意見でした。次に、僅差で「現行のバス路線の充実」、「バス・タクシー共通利用券の配布等」と続きました。
- アンケート調査では、「バス・タクシー共通利用券の配布等」が最も多く、次に僅差で「乗合交通が利用しやすい地域におけるバスの運行」が続きました。
- 意見交換会とアンケート調査の意見数を合算すると、「バス・タクシー共通利用券の配布等」が全体の27%で最も多い結果となりました。